

2022年3月16日

関係各位

社会福祉法人中心会
理事長 浦野正男
児童養護施設 中心子どもの家
所長 丹 清

新型コロナウイルス感染者(児童)の発生について
(3)

本年3月5日(土)付で、職員1名、入所児童2名の感染が判明しましたことをご報告致しました。

その後、これとは別に、入所児童1名の陽性が3月10日(木)に判明したこと、このことに関連する施設内感染がないことを次の通りご報告致します。

(これまでの累計：職員2名、入所児童4名)

《経過と対応》

①3月9日(水)の夕方、これまでに陽性が判明した職員・入所児童とは異なる階の入所児童1名が発熱。すぐに隔離を開始しました。

②3月10日(木)の夕方、医療機関での抗原検査で当該入所児童は「陽性」であることが判明しました。

同日の夜、当該入所児童と同じ生活区域に属する入所児童全員と、関連する職員全員の検体を採取しました。(合計16名分)

③3月11日(金)、16名のうち15名のPCR検査の結果が「陰性」と判明しました。都合により別の検査機関を利用していた残り1名のPCR検査の結果は、3月15日(火)に「陰性」と判明しました。このことから、当該入所児童からの伝播はないと考えられます。

当該入所児童が通う教育機関が学級閉鎖に至っていたことや、当該入所児童はそれ以外に外出をしていないことから、教育機関での感染と推定されます。

なお、2月27日(日)と3月1日(火)に陽性が判明した入所児童3名・職員2名は、自宅療養(職員)や施設内隔離(入所児童)を順次終えて、3月12日(土)には全員が平常の生活や仕事に戻っておりますことを、併せてご報告致します。

保健所と密接に連絡を取り合い、助言を頂きながら感染が拡大しないよう努めております。

皆様には大きなご心配をお掛けし申し訳ございませんが、引き続き感染防止に最大限の努力をいたしますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。